

2024年度 環境経営レポート



(2024.4 ~ 2025.3)

 三協ワシメタル株式会社

2025年7月1日 作成

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

三協ワシメタル株式会社

代表取締役社長 高崎 金春

(2) 所在地

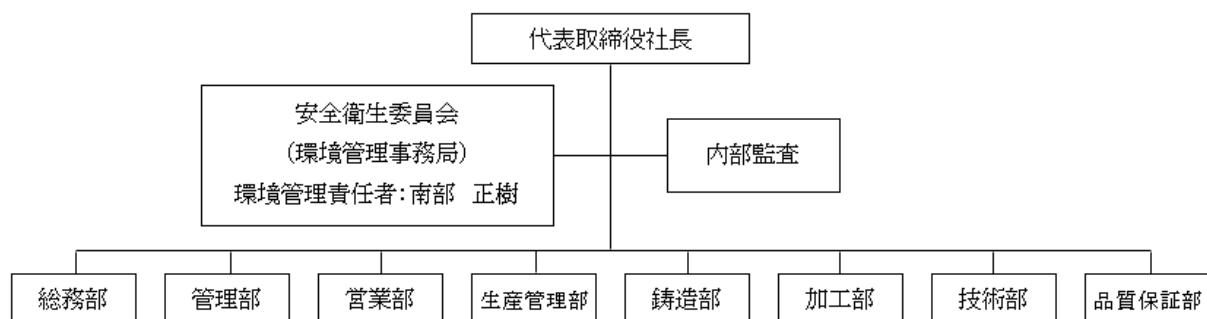
富山県高岡市長慶寺575番地

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 南部 正樹 TEL : 0766-21-2345

推進事務局 総務・管理部部長 : 新田 章一 TEL : 0766-21-2345

【推進組織図】



【役割分担】

	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none">① 環境経営に関する統括責任② 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源(人・設備・費用・時間)の用意③ 環境管理責任者の任命④ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知⑤ 環境経営目標設定の承認⑥ 代表者による全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none">① 環境経営システムの構築・運用② 法規制等の要求事項登録簿の承認③ 環境経営実施計画書の承認④ 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
各部門長	<ul style="list-style-type: none">① 自部門における環境経営システムの実施② 自部門における環境経営方針の周知③ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施

	<p>④ 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告</p> <p>⑤ 特定された項目の手順書作成及び運用管理</p> <p>⑥ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録</p> <p>⑦ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置</p>
環境事務局	<p>① 環境管理責任者、EA21推進会議の事務局</p> <p>② 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</p> <p>③ 「環境関連法規等チェックリスト」の作成</p> <p>④ 環境経営目標・環境経営実施計画書原案の作成</p> <p>⑤ 環境経営実施計画の実績集計</p> <p>⑥ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口</p>
安全衛生委員会	<p>① 省エネルギー（二酸化炭素排出量削減）、節水、廃棄物排出量削減、全社活動の推進</p> <p>② 上記、各活動の推進のための具体策の提案、及び実行</p> <p>③ 活動結果の環境管理責任者への報告</p>
内部環境監査員	<p>① 環境管理責任者の立案した計画に従い、内部環境監査を準備・実施、結果報告</p> <p>② 監査不適合の処置について、処置責任部部門に助言を行い、処置がとられたこととその効果の確認</p>

(4) 事業内容

アルミ鋳造製品を主とした金属製品の製造及び販売

(5) 事業の規模

製品出荷額 2,470 百万円 (2024 年)

主要製品生産量 2,089 トン (2024 年)

従業員 120 名

工場延べ床面積 14,648 m²

2. 対象範囲

(1) エコアクション21の対象範囲

本社工場 富山県高岡市長慶寺575番地

型倉庫 富山県高岡市長慶寺736番地

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

< 基本方針 >

三協ワシメタル株式会社は、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、
鋳造・加工技術を生かし、Q・C・Dにおいて顧客満足度を向上させる活動を継続的に
実施することを通して、アルミ鋳物品のベストサプライヤーを目指します。

環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全
活動に取組み、収益体質を強化すべく製造革新を進めるとともに、人材育成による
事業全体の質を向上させることにより、社会に貢献します。

< 行動指針 >

1. 環境経営目標を定め、全従業員参加で環境負荷削減に向け継続的改善に努めます。
 - ①不良削減と省エネルギーに取組み、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ②廃棄物排出量の削減と適正処理を推進します。
 - ③水使用量の削減と適正処理を推進します。
 - ④化学物質の使用量について定期的に管理を行い、使用量削減に努めます。
 - ⑤自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上に努めます。
2. 環境にやさしいものづくりの為、環境経営システムを構築し、改善運用することにより、
継続的に環境の維持向上活動を行ないます。
3. 環境関連法令を遵守するとともに、取引先との約束を遵守します。
4. 本環境経営方針は全従業員に周知徹底させ、環境に対する意識を高め、全員で
環境改善に取組みます。

この環境経営方針は、全従業員に周知徹底させるとともに一般に公開します。

2025年7月1日
三協ワシメタル株式会社
代表取締役社長

高崎 金春

4. 環境

経営目標

□環境経営目標 中期計画（3年）

項目	単位	2023年目標	2024年目標	2025年目標
二酸化炭素排出量※1	kg-CO ₂ /t	2,240	2,195	2,151
電力使用量(鋳造区)※1	kWh/t	2,368	2,321	2,275
電力使用量(加工区)※2	kWh/h	28.84	28.26	27.69
ガソリンの使用量	L	2,128	2,085	2,043
L P G 使用量※1	kg/t	241.1	236.3	231.6
水 使用 量※1	m ³ /t	63.5	62.9	62.3
廃棄物排出量※3	kg/t	189.8	186.0	182.3
(うちコピー用紙使用量)	(枚)	(200,160)	(196,157)	(192,234)
(うち廃油排出量)※1	(kg/t)	(64.01)	(62.73)	(61.48)
(うち鋳物砂排出量)※1	(kg/t)	(709.2)	(695.0)	(681.1)
化学物質の減量	kg	301.4	298.4	295.4
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスによるコストダウン	件	5	3	3
不良の削減	千円/月	4,619	4,167	3,917

※1 良品鋳造重量 tあたり排出量としております

※1 二酸化炭素排出量は2020年度の購入電力排出係数 0.498 kg-co₂/kWhによっております

※2 機械加工部門における正味加工時間あたり排出量としております

※3 有価物を除く

5. 環境経営計画

当社では多種の部門が存在するため、全体を下記の7部門に分け、それぞれが環境経営活動の実施計画を立案しております。

ダイカスト鋳造部門、ダイカスト加工部門、

砂型鋳造部門、低圧鋳造・熱処理部門、

精機・部品加工部門、事務所部門

(1) 電力使用量の削減

- 1.LED 照明への切替え (ダイカスト鋳造部門)
- 2.不良品の低減、まとめ生産 (ダイカスト鋳造部門他)
- 3.コンプレッサー電力使用量の削減 (全部門)
- 4.断熱炉蓋使用 (砂型鋳造部門)
- 5.一週間不使用見込み時の電気炉停止 (低圧鋳造・熱処理部門)



(2) ガソリンの使用量の削減

- 1.出張時の公共交通機関利用 (事務所部門)

(3) LPG 使用量の削減

- 1.保持炉稼働時間の低減、保持炉蓋の作成 (ダイカスト鋳造部門)
- 2.型加熱時のフード使用 (低圧鋳造・熱処理部門)

(4) 水使用量の削減

- 1.DC 冷却水温度の一定化 (ダイカスト鋳造部門)
- 2.離型剤の希釀倍率定量化 (ダイカスト鋳造部門)
- 3.夏季のシャワー使用 (事務所部門)
- 4.節水活動 (全部門)

(5) 廃棄物排出量の削減

- 1.クリーン活動による作動油モレの早期発見 (ダイカスト鋳造部門)
- 2.多数個取りによる砂使用量の低減 (砂型鋳造部門)

(6) 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスのコストダウン

客先への VE/VA 提案を通じてコストダウン・環境負荷の低減を図る。
(製品立上時、事前設計打合せ項目を含む)

(7) 不良の削減

鋳造部門・技術部門・品質保証部門共同での推進。

(8) きづきカード制度

毎月業務の改善点など「きづいた事」を専用用紙に記入し提出すると、配点表により審査を行い、基準にて現金を支給。毎月1日に食堂前掲示板にて結果を掲示。

「工程時間の短縮」や「廃棄物の削減」など環境面や衛生面、品質面での改善などが行われている。



(9) NW チャレンジ活動 (QC 活動)

年に2度、全社をあげたQC発表会を行っている。

活動は自社にとどまらず、外部の発表会へも参加し優秀な成績を収めるなど全員参加で活発な活動が行われている。



6. 環境経営目標の実績

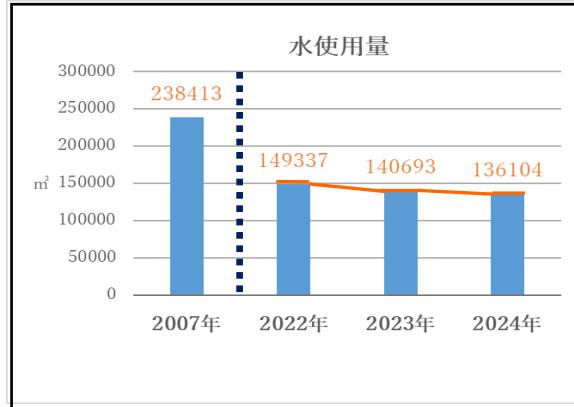
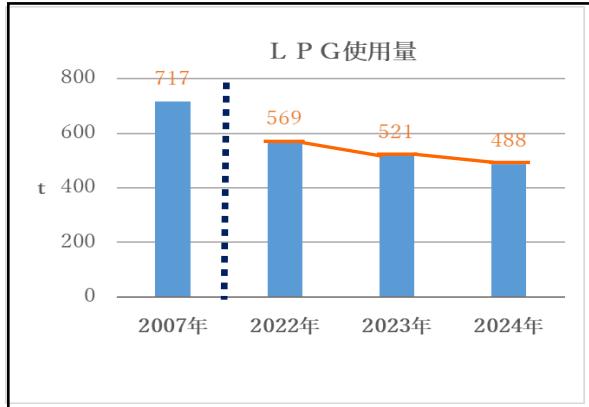
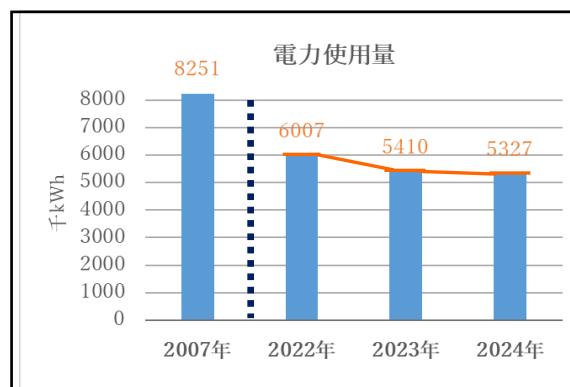
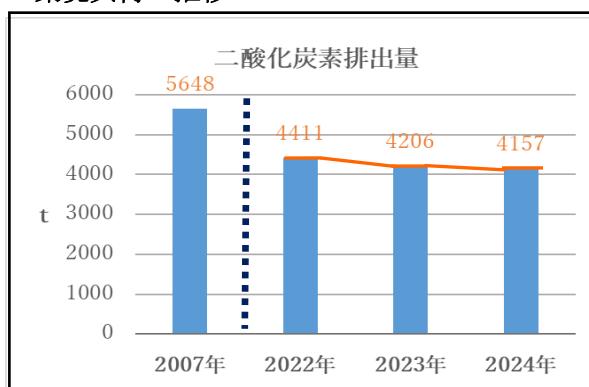
(1) 主な環境負荷の実績 (過去3年間の実績)

(期間: 4月～翌年3月)

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,410,670	4,206,373	4,157,534
	kg-CO ₂ ／百万円 (出荷金額あたり)	1,653	1,723	1,683
	kg-CO ₂ ／t	2,127	2,092	2,291
電力使用量	kWh	6,007,358	5,410,343	5,327,803
ガソリンの使用量	L	2,789	2,230	2,404
LPG使用量	kg	568,964	521,111	488,512
廃棄物排出量	kg	339,212	309,618	298,613
コピー用紙使用量	枚	163,500	154,500	161,000
水使用量	m ³	149,337	140,693	136,104
化学物質使用量	kg	273.6	275.4	307.7
製品及びサービスによるコストダウン	件	3	4	6
不良の削減	千円/月	5,616	5,219	6,772

※2023年の二酸化炭素排出量は2020年度の購入電力排出係数 0.498 kg-CO₂/kWhによっております

＜環境負荷の推移＞



(2) 取組期間の実績 (2024.4~2025.3)

項目	単位	2024年 目標値	2024年 実績値	目標値達成率 (%)
二酸化炭素 排出量 (良品鋳造重量 t 当り排出量)	kg-CO ₂ (総排出量)	4,545,507	4,157,534	108
	kg-CO ₂ / t	2,195	2,291	96
電力使用量 (良品鋳造重量 t 当り使用量) 〈鋳造区〉 〈加工区〉	〈鋳造区〉 kWh/t	2,321	2,469	96
	〈加工区〉 kWh/h	28.26	23.17	122
ガソリンの使用量	L	2,085	2,404	85
LPG 使用量 (良品鋳造重量 t 当り使用量)	kg/ t	236.3	269.1	86
廃棄物排出量 (良品鋳造重量 t 当り排出量)	kg/ t	186.0	164.6	113
水使用量 (良品鋳造重量 t 当り排出量)	m ³ / t	62.9	67.5	93
化学物質使用量	kg	298.4	307.7	97
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスのコストダウン	件	3	6	200
不良の削減	千円/月	4,167	6,772	62

※購入電力排出係数 本社工場 0.481 kg-co2/kWh

※良品鋳造重量 目標値 (基準値 2020 年度) 2,072.374 t
実績値 1,814.722 t

※目標値達成率の計算式
$$\left(1 - \frac{\text{実績値} - \text{目標値}}{\text{目標値}} \right) \times 100 (\%)$$

7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(取組期間 : 2024. 4～2025. 3)

取組計画	達成状況	評価（結果と次年度の取組）
二酸化炭素排出量の削減	<p>目標 : 2,195 kg-CO₂ / t (基準年度比△6%)</p> <p>実績 : 2,291 kg-CO₂ / t</p> <p>達成率 : 96%</p>	<p>目標未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋳造部の生産減により非効率稼働が続き、不良の低減も計画未達となったため目標未達成です。 ・一つずつ不良を洗い出し対策を打って、生産性向上を目指し取り組んでいきます。
電力の削減 ①不良品の低減、まとめ生産 ②コンプレッサー不稼働時の停止 ③溶解炉電力量の削減 ④炉の計画停止 ⑤LED 照明への切替え(DC 鋳造)	<p>＜鋳造区＞</p> <p>目標 : 2,321 kWh / t (基準年度比△6%)</p> <p>実績 : 2,469 kWh / t</p> <p>達成率 : 96%</p> <p>＜加工区＞</p> <p>目標 : 28.26 kWh / h (基準年度比△6%)</p> <p>実績 : 23.17 kWh / h</p> <p>達成率 : 122%</p>	<p>目標未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋳造部では突発不良の増加、その改善が遅れて目標未達成です。 ・低圧鋳造の生産量減少による効率悪化も影響しました。 <p>目標達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工部では省エネコンプレッサー入替効果が継続し目標達成となりました。
ガソリンの削減 ①エコドライブ運動の推進 ②エコカーの導入 ③出張時の公共交通機関の利用	<p>目標 : 2,085 L (基準年度比△6%)</p> <p>実績 : 2,404 L</p> <p>達成率 : 85%</p>	<p>目標未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年よりさらにコロナ規制解除による客先打合せ及び会合が増加したため、未達となりました。
LPGの削減 ①不良品の低減 ②ガスバーナーの火力調整の管理 ③稼働率向上によるロスの低減	<p>目標 : 236.3 kg / t (基準年度比△6%)</p> <p>実績 : 269.1 kg / t</p> <p>達成率 : 86%</p>	<p>目標未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猛暑により空調の稼働が増加傾向です。 ・バーナーの性能低下傾向により効率も低下したため目標未達となりました。 ・今後バーナーの更新も検討中です。

<p>水使用量の削減</p> <p>①節水活動 ②元バルブでの水量調整</p>	<p>目標：62.9 m³/t (基準年度比△3%)</p> <p>実績：67.5 m³/t</p> <p>達成率：93%</p>	<p>目標未達成</p> <p>・元バルブでの水量調整を続けるも、DC生産減による効率不安定傾向が改善されず、目標は未達成でした。</p>
<p>産業廃棄物の削減</p> <p>①サンドメタル比の向上による使用砂量の削減 ②工程ロスの削減</p>	<p>目標：186.0 kg/t (基準年度比△6%)</p> <p>実績：164.6 kg/t</p> <p>達成率：113%</p>	<p>目標達成</p> <p>・使用砂量の削減は難しかったが、作動油漏れの多い機械の停止、修理と全機械への点検強化が効果を上げ、目標達成となりました。</p>
<p>化学物質使用量の減量</p> <p>①代替品の検討 ②使用量、使用頻度の低減</p>	<p>目標：298.4 kg (基準年度比△3%)</p> <p>実績：307.7 kg</p> <p>達成率：97%</p>	<p>目標未達成</p> <p>・化学物質の含有量が少ない製品や、ノンキシレン・ノントルエンタイプの切り替えを進めたが使用量は減らず、目標未達成です。</p>
<p>自らが生産・販売・提供する製品及びサービスのコストダウン</p> <p>①客先への工程変更 ②設計変更</p>	<p>目標：3 件 (基準年度比-%)</p> <p>実績：6 件</p> <p>達成率：200%</p>	<p>目標達成</p> <p>・移管型での仕様変更や、素材共通化、工数低減等の申し入れを行った結果、目標達成となりました。 今後も取り組みを推進していきます。</p>
<p>不良の削減</p> <p>① 重点不良品への不良低減</p>	<p>目標：4,167 千円/月 (基準年度比-%)</p> <p>実績：6,772 千円/月</p> <p>達成率：62%</p>	<p>目標未達成</p> <p>・客先不具合や工程内不良を洗い出し、地道な品質改善活動を続けているが、突発不良の発生と対応の遅れが響き、目標未達成となりました。 毎月随時会議態での進捗を確認していきます。</p>

基準年：2020年4月～2021年3月

8. 環境経営活動の紹介

【1】オフィスの省エネ改善

①照明

照明はそれぞれナンバリングされており、必要な箇所だけ点灯するようにしました。消したい照明が一目で分かるよう工夫し、退社時は自分のエリアを消灯するルールを徹底しています。



②エアコン

扇風機を併用し部屋の空気を対流させ、エアコンの冷気が全体にいきわたるようにしています。

体に風を感じると体感温度が下がり、エアコンの設定温度を上げる事ができました。そして事務所内では夏冬の設定温度を設けて、省エネを心掛けました。

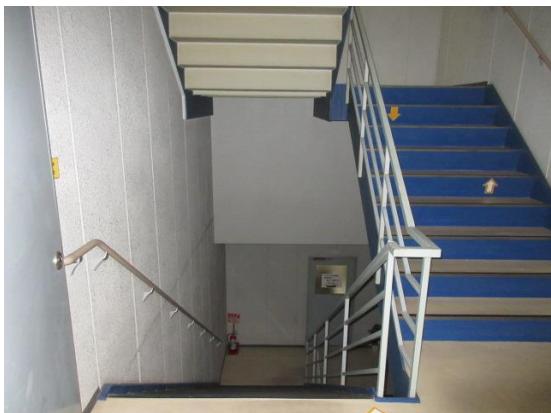


【2】センサーライト使用で省エネ改善

本社来客階段や、通路を対象にセンサーライトを取り付けています。

夜間もムダな電力を減らすため、素材置場にセンサーライトをつけ、作業時のみ点灯するようになっています。

本社来客用階段



屋外素材置場



【3】早朝清掃活動

希望者を募り会社周辺歩道の除草及びゴミ拾いを行っています。
会社構内のゴミ拾いも行い、従業員の環境への意識を高めます。



【4】献血ボランティア

年に2回当社で献血ボランティアを行っています。
コロナ禍や少子化で献血者がどんどん減っているなか、少しでも地域で役立ててもらえるよう実施しています。従業員の理解が増し、参加者は年々増えています。



9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

なお順守している主な法規制等は、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃棄物処理法、消防法、労働安全衛生法です。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による見直しを行い、下表の通りとなりました。

項目	見直しの有無	コメント
環境経営方針	有	代表者変更による
環境経営目標	無	
環境経営活動計画	無	
実施体制	有	代表者及び担当者の変更による
総評		<ul style="list-style-type: none">生産性向上と不良の低減をはかり、各使用量の削減に努める。各部門ごとにブレークダウンし、代替品の検討をし、提案させ、費用計画を立案する。どんなに小さなことでも、決めたことを確実に実行していくことで成果につながっていきます。未達項目の原因を分析し、時には施策の見直しが必要となれば迅速な対応で進めていきましょう。